



9月20日(金)第2回学校運営協議会が開催され、授業参観のあと、協議が行われました、

《学校評価と課題への取り組み》

学校教育ビジョン評価シートに基づき、中間評価と改善策等について質問や意見がいただきました。

- ・家庭学習の課題を選択制にするとはどういうことか
→ 自分で目標を決め、課題を選択して取り組む。
- ・話し合いによって、自分の考えが広がったり深まったりしている生徒の割合が高いのに、自分の意見を発言していると思う生徒の割合が低いのはなぜか
→ グループでは意見が言えるが、大勢の前では言えていないということだと思ふ

他に「自己肯定感を高めるにはその場に立ち会ってタイムリーにほめることが大事」「家庭学習ができないのを個人の問題で終わらせず、教えあいの場を作るなど学校でなければならない取り組みをする」といった意見がありました。

《部活動の地域移行》

中学校の部活動は、これまで主に教職員が指導して学校ごとに行っていました。これからは地域で共に支える活動へと移行していきます。今回の協議会は、部活動の地域移行の当事者として令和8年度に中学生となる、下山小学校5年生の保護者の方にオブザーバーとして参加していただきました。

前田教頭から、下山中学校の部活動の現状、教職員や生徒の意見について説明をうけ、その後3グループにわかれて、放課後活動を充実したものにするための意見が交わされました。

インターネットを使って学習や活動ができる場所を作ってほしい

中学生がどんなことをやりたいか
ズームやリアルで大学生と話してみたら

費用は?
送迎は?

生徒が主体
大人は見守り

地域の方に得意なことを教えてもらい
生徒が本格的にやりたくなったら、地域で開いている教室などの場へつないで
もらう

コミハウスでやっている活動に
地域の人と一緒に参加する

いろいろな
活動ができそう